

# 岡山県総合文化センターニュース

道<sup>⑪</sup>しるべ

興除新田の国境石



元禄（1688 - 1704年）頃、池田光政家臣津田永忠が計画した興除新田の開発は、福田新田とならぶ大規模なものであった。備前と備中との国境近くに位置したため、新田の開発は常に国境争論と結びついた。享保6年（1721年）に着工されたが、児島湾沿岸漁民の抵抗や倉敷村の反対でいったん中止され、その後も幕府、岡山藩、児島湾沿岸漁民、妹尾村漁民の間で、干潟の領有帰属と漁業補償問題をめぐって対立が繰り返された。文化11年（1814年）幕府より最後の裁許が申し渡され、文政2年（1819年）にようやく新田の開発が始まった。宝暦8年（1758年）の裁許の時に設置した105本の分間杭が木製で消滅のおそれがあるため、文政4年（1821年）に江戸御普請役元締・河島序七郎、高梨官平等の一行がそこに10基の標石を設置した。これにより海から生まれた地域に初めて備前・備中の新国境が確定した。

これら10基の標石のうち、残存するのは7基で、そのうちの1基が宇野線早島駅の東南約1キロのところに保存されており、当時の人々の干拓への熱い思いを今日に伝えている。

## 【参考文献】

『興除村史』興除村史編纂委員会／編纂 興除村 1971 『岡山の道しるべ』巖津政右衛門／著 日本文化出版（岡山文庫70）1976 『岡山県史 第8巻 近世』岡山県史編纂委員会／編纂 岡山県 1987

## 近づく県立図書館・県民文化交流センター(仮称)への再編

館長 広江 寿彦



新年明けましておめでとうございます。

平成15年の総合文化センターは、年の瀬のような忙しさになりそうです。

昭和32年に、当時の県立図書館、視聴覚ライブラリー、日米文化センターを統合してできた総合文化センターも、誕生以来50年近くなりました。当初は、文字通り文化の総合的なセンターでしたが、現在は、図書館部門と文化部門とで構成されております。

図書館部門は、昭和62年に独立化の方針が出され、その後、紆余曲折を経て、昨年10月に新県立図書館の着工となり(元岡山市立丸之内中学校跡地)、現在、平成16年秋のオープンを目指して、工事が進められています。

当館においては、来年度、資料の整備が本格化します。すでに進めている資料整備に加え、新たなサービスとなる児童資料・AV(オーディオ・ビジュアル)資料、さらには、電子図書館構想の柱となる「デジタル岡山大百科」(インターネットによる郷土情報の提供)関係の資料整備などです。

県立図書館の効果を全県域に波及させるため



県立図書館起工式(平成14年10月)

にも市町村立図書館の充実が重要です。ネットワーク化を進め、資料搬送についても充実させる予定です。

一昨年にできた子どもの読書活動の推進に関する法律に基づいて、今年度中に「岡山県子ども読書活動推進計画(仮称)」が策定されます。その中で、県立図書館は県域の読書活動推進のセンター的役割を果たすことが求められています。当館としても、関係者の協力を得て、新しい事業を実施してまいります。

図書館部門が移転した後の施設の利用については、建築以来相当年数が経っているものの、県財政が厳しいおり、耐震補強・リフレッシュ工事をしたうえ、県民文化交流センター(仮称)として、活用することとなっています。

その具体的活用方法は、県教育長の諮問機関として昨年設置された、「県民文化交流センター(仮称)整備検討委員会(井上甫之委員長)」において、検討が進められています。今までの議論の中で、現在の展示室・ホールは、今後も継続するとともに、概ね、地下は音楽等の練習室や荷解き室に、2・3階の図書館が使っていたところは、展示室・会議室として利用が可能ではないか、とされています。このほか、施設の管理運営方針、文化情報コーナーなどについて議論が進められており、今年度中には、報告がとりまとめられます。

これを受けて、来年度、工事設計がなされ、16年度に改修工事に取りかかり、17年中には、リニューアルオープンされるものと思います。

(「新世紀おかやま夢づくりプラン」から)

## おかやま人物往来 ⑦1

### 山崎 家盛・家治

山崎家盛は近江国に生まれた。父山崎片家は織田信長、豊臣秀吉に仕え、天正10年（1582年）の冬、近江国から摂津三田に移って2万3千石を領有した。

天正19年（1591年）家盛は父片家の遺領を継いだ。文禄元年（1592年）家盛は豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に対馬国に渡り、2年間輸送、警固の任務を果たした。この間に嗣子山崎家治が対馬国で誕生する。

家盛は豊臣秀吉の死後、秀吉の子豊臣秀頼に仕えた。慶長5年（1600年）徳川家康が諸将を率いて上杉景勝征伐のために関東へ下向した際に石田三成らが大阪において徳川家康に反旗を翻す。この時諸将の妻子は人質として大阪城へ入るよう命ぜられたが、池田輝政室（徳川家康の娘富子）はこれに従わず、家盛の屋敷へひそかに逃れた。これは家盛の正室が池田輝政の妹だったためだといわれている。しかし池田輝政の屋敷へ入って正室を捜すよう命令が出ていたため、家盛は輝政の屋敷が狼藉にあうことを危惧して、輝政の正室を屋敷へ戻し、その上で家盛は豊臣の家臣長束正家に来て輝政の正室が重病なので回復するまで大阪城へ入ることを待つと交渉し、成功している。一説には家盛の居城三田城へ輝政の正室及びその子を逃がしたといわれている。

家盛は石田三成に依る一方で徳川家康に大阪の状況を知らせており、家康の娘つまり輝政の正室の安全を確保したことにより大いに信頼されたと考えられる。関ヶ原の戦いの後、加増されて因幡国若桜城へ移る。

家盛の正室（池田輝政の妹）は天球院と呼ばれ

た。妙心寺の塔頭に天球院があるがこれは彼女のために池田光政が創建したものであると伝えられている。

家盛の子家治は慶長19年（1614年）家督を継いだ。家治は大阪の役の際には徳川方につき、元和3年（1617年）備中国成羽へ入った。

家治は浅口郡内にも知行地を持っており、西阿知新田・北面新田の開発を行った。寛永15年（1638年）島原の乱後まもない肥後国天草の富岡城へ入る。この時1万石加増され、4万石を領有した。天草の統治は困難なものであったと考えられるが成果を上げて、寛永18年（1641年）讃岐国丸亀へ移る。丸亀城を修築し、5万石を領有した。しかし家治の嫡子俊家の子治頼早世によって断絶となる。山崎氏の家名は俊家の弟豊治が備中国川上郡成羽5千石の領主となって存続することになる。

#### 【参考文献】

「成羽町史 通史編」(H8) 「増補妙心寺史」(川上孤山著 思文閣) 「備中成羽藩史料」(岡山県地方史研究連絡協議会 S41) 「新訂寛政重修諸家譜 第七」(続群書類従完成会 S40) 「川上町史」(H6) 「池田家履歴略記 上巻」(日本文教出版 S38) 「成羽町の文化財」(成羽町文化財専門委員会 S60)



三村氏城跡（成羽城＝お茶屋）現在の成羽町成美集会所付近  
山崎家治の居城であった

## うち当館の参考図書 ⑫5

「何でもわかる漢字の知識百科」  
(阿辻哲次・一海知義・森博達編 2002年6月 三省堂)

ちょっとした文章や手紙を書く時、漢和辞典や字書を調べてみると、その漢字についていろいろな発見や驚きに出会う事があります。本書はその発見や驚きがいっぱい詰まっています。

例えば「年」は何ヘンか……など。本書によれば「年」の部首は「干」だそうです。「年」の古い字体は意味を示す「禾」(いね)と音を示す「干」との組み合わせからできていて、その意味

は「禾穀熟するなり」。「年」は禾が一年に一度みのる(あるいは干す)ことから「とし」という意味で使われるようになった文字なので、その部首は「干」という事なのだそうです。こんなコラムが随所にあるので、このコラムを拾い読みしてみるだけでも楽しめます。

コラムの他にも漢字の起源や、漢字の成り立ち、部首の意味まで記載されている部首一覧など、漢字の情報がいっぱいです。

本書を熟読すれば漢字博士になれる事、間違いなしです。



## 平成14年度 岡山県読書大会（報告）

日時：平成14年10月27日(日) 午後1時～4時 / 場所：勝北町文化センター

岡山県読書大会は、毎年秋の読書週間中に開催している行事で、31回目の今年は、勝北町で開催されました。



開 会 式

開会行事の中で行われた、岡山県読書大会表彰式では、県内の図書館で活躍されているボランティアグループや、図書館振興に貢献して下さった個人及び団体に、表彰状や感謝状が贈られました。

また、(社)読書推進運動協議会が表彰する、優良読書グループの表彰伝達式も行われ、里庄町立図書館で活動をされている読書グループの「カメラ読書会」に賞状が手渡されました。開会行事終了後には、2つの実践発表と記念講演が行われました。

まずはじめに昨年度の優良読書グループ、赤坂町「まるパンの会」による、絵本『キツネとのかくそく』（河出書房新社刊）のスライド上映が行われ、次に、開催地である勝北町で活動されている「勝北町文化のまちづくり事業《風と光と心の劇場》実行委員会」より「ミュージカルと文化」と題した発表が行われました。

記念講演では、作家であり評論家でもある紀田順一郎氏に「新しい時代の図書館と読書」と題して、講演をしていただきました。



紀田順一郎氏の記念講演

当日は参加者の皆様に、読書の秋にふさわしい一日を過ごしていただけたことと思います。

### 岡山県読書大会表彰等の受賞者

(敬称略)

#### ・被表彰者

倉敷音訳の会 代表者：小池 一子  
おはなしを語る会 代表者：岡 弘美

#### ・感謝状受贈者

伊藤 謙介  
わらび座新見公演実行委員会

### (社)読書推進運動協議会 優良読書グループ表彰伝達の受賞者

カメラ読書会 代表者：高田 清香



表 彰 式

# 一日子ども図書館フェスティバル in 西粟倉

日時：平成14年11月3日(日) / 会場：西粟倉村あわくら会館

「一日子ども図書館フェスティバル」は、図書館のない地域の子どもたちに対し、いろんな多くの本に触れる機会を与えたり、人形劇やおはなし会などを通じて物語の楽しさを知ってもらう事を目的に、毎年、岡山県読書推進運動協議会が町村の教育委員会と共催で開催しています。

今年度は、読書週間中の11月3日(日)に、西粟倉村のあわくら会館を会場に、盛りだくさんのイベントで開催されました。フェスティバル当日は、天候としては余りいいとは言えませんでした。近隣の大原町、東粟倉村からの参加もあり、310名の参加者でにぎわいました。

西粟倉村には、「あわくら会館子ども図書館」があり、村内の小・中学生が「一日子ども図書館員」として任命され、図書の貸出・返却の手伝いをしてくれました。

館内では、本のリサイクルコーナー、絵本展示コーナー、科学実験コーナーなどが設けられ、特に、科学実験コーナーでは、カルメ焼きを作ったり、スライムを作ったりなど、不思議な現象を目の当たりに体験して、子どもたちにも、大人たちにも大好評でした。



「一日子ども図書館員」  
皆さん、本を読みましょう

▶「シャボン玉コーナー」



また、屋外では、バルーンショー、パントマイム、シャボン玉コーナーが次々で行われて、村の職員の方も飛び入りで参加されたり、子どもたちの笑いを誘い、大人気でした。

そのほか、人形劇、おはなし会、絵本を語る会コーナーなど楽しい催しが企画されました。絵本を語る会コーナーでは、子ども向けのストーリーテリング、読み聞かせがあり、講師の方には絵本を選ぶポイントなども教え

ていただき、大変参考になりました。

それに今回のフェスティバルは、村内の中学生ボランティアグループが、カレーの準備をしてくれたり、科学実験コーナーのアシスタントを務めてくれたり、飾り付けなどのお手伝いをしてくれたり、たくさん支えてくれました。

このようにして、「一日子ども図書館フェスティバル」は大盛況のうちに終了しました。参加者の皆様方が、少しでも図書館を身近なものとして暮らしの中に取り入れてくれますよう期待しております。



◀次はどんなおはなしかな？  
「絵本を語るコーナー」

## 新着郷土資料紹介

岡山県内公共図書館調査 平成14年度 岡山県図書館協会編、発行 2002 10<sup>9</sup>円  
 美作峠和郷戦乱記 竹内・杉山一族の戦国史 小川博毅著、発行 2002 165<sup>9</sup>円  
 岡山孤児院物語 石井十次の足跡 横田賢一著 山陽新聞社発行 2002 238<sup>9</sup>円  
 総社市地域防災計画 平成14年6月 総社市防災会議〔編〕、発行 2002 155<sup>9</sup>円  
 路線価図 岡山県 広島国税局管内 玉島・津山・玉野・笠岡・高梁・新見・瀬戸税務署管内財産評価基準書 平成14年分 広島国税局〔編〕大蔵財務協会発行 2002 1冊  
 笠商百周年記念史 岡山県立笠岡商業高等学校編、発行 2002 697<sup>9</sup>円  
 宇野確雄植物コレクション(9) ミツバウツギ科~セリ科 倉敷市自然史博物館収蔵資料目録第9号 倉敷市立自然史博物館編、発行 2002

## 新着外国語資料紹介

勇氣

**Veiled courage : Inside the Afghan women's resistance**  
 ( by Cheryl Benard / Broadway Books / 2002 )

タリバン支配下のアフガニスタンでは、女性は労働と就学を禁じられ、男性の付添人なしには外出もできず、ブルカと呼ばれる頭先からつままで覆う布をかぶらなくてはならなかった。少しでも違反すると容赦なくムチ打たれた。それゆえ、タリバン政権への唯一の抵抗が女性によってなされたことは驚くべきことであった。

本書は、アフガニスタン女性革命協会(RAWA)の女性たちの勇氣ある行動を明らかにしている。彼女たちはブルカを有利に使いながら、秘密裏にタリバンによるムチ打ちや処刑を写真にとりウェブサイト上で配信することで、抗議を続けたのである。RAWAは、イスラムの女性の基本的な権利が完全に保証される社会の実現を目指しながら、タリバン政権崩壊後も活動を続けている。著者は、アメリカの社会学者でRAWAの長年の顧問であるシェリル・ベナード女史。

名作

**Guri and Gura**  
 ( by Reiko Nakagawa and Yuriko Yamawaki / translated by Peter Howlett and Richard McNamara / Tuttle Publishing / 2002 )

本書は、1963年に出版されてからずっと根強い人気を誇り数々の賞を受賞してきた「ぐりとぐら」の英語版を、タトル社が初めて出版したものである。2匹の野ネズミ「ぐりとぐら」の冒険は、

96<sup>9</sup>円

パートナーシップによるコンビナート地域環境改善報告書シリーズNo.7 海底ゴミの実態把握調査を通じた市民意識の啓発に関する活動中間報告 水島地域環境再生財団編、発行 2002 67<sup>9</sup>円

岡山県真庭地域振興計画調査報告書 製材：木材加工業を核とした「木質資源循環型産業クラスター」の創出地域振興方策調査 中国産業活性化センター編、発行 2002 8,166<sup>9</sup>円

ええもんあるけん！来てみんちゃい。津山地域の青空市マップ 津山地域農業振興技術者連絡協議会〔編〕、発行 2002 1枚

松岡寿研究 青木茂、歌田真介編 中央公論美術出版発行 2002 473<sup>9</sup>円 図版16<sup>9</sup>円

木下大サーカス 木下サーカス〔編〕、発行 2002 47<sup>9</sup>円

朝水集成 日笠朝子著、発行 2002 115<sup>9</sup>円

岡山の色ばなし 夜這いのあったころ 立石憲利編 吉備人出版発行 2002 176<sup>9</sup>円



日本の子どもたちだけでなく海外の子どもたちにも広く紹介されてきた。今回のピーター・ハウレット氏とリチャード・マクナマラ氏による英訳が、また新たな世代の読者を魅了することであろう。

常勝

**Yankees century : 100 years of New York Yankees baseball**  
 ( text by Glenn Stout / photographs selected and edited by Richard A. Johnson / Houghton Mifflin Company / 2002 )

ニューヨーク・ヤンキーズは、過去100年間で38回優勝し、26回ワールドシリーズを制覇してアメリカ野球界のトップの座に君臨してきた名門中の名門チームである。ベープ・ルースを始めとする数々の伝説に残るヒーローを輩出してきたのも、ヤンキーズである。本書では、ヤンキーズの完全な歴史が250枚以上の写真と多くのエッセイで年代ごとに記録されている。ヤンキーズの記録こそが、アメリカにおける野球のサーガ(伝説的英雄物語)であり、ニューヨークの歴史を語る上でも欠かせないものなのである。本書は、偉大な野球ガイドであり、スポーツ関係者の必読書といえよう。

平成14年度 岡山県総合文化センター企画展「現代作家の眼」の紹介

## アートウェーブ岡山・コラボレーション ポエム 2003

展覧会名	「現代作家の眼」アートウェーブ岡山・コラボレーションポエム 2003
会 期	平成15年1月22日(水)~2月2日(日)
会 場	岡山県総合文化センター 第一展示室
主 催	「現代作家の眼」展実行委員会、岡山県総合文化センター 岡山県教育委員会
共 催	岡山県総合文化センター文化振興会
助 成	エネルギー文化・スポーツ財団
入 場 料	無料

このアートウェーブ岡山・コラボレーション ポエム 2003は、県内で活躍中の美術家と詩人がペアを組んで共同制作した作品を展示する美術展で、今回は、各ペアがそれぞれのテーマのもとに制作したコラボレーション作品25点が出品されます。

岡山県総合文化センターでは、かつて「詩画展」という展覧会を開催していましたが、この「コラボレーション ポエム」は、詩人と美術家による共同制作という点を強調しつつ、その「詩画展」を発展的に継承した美術展と言えます。

美術の表現では、コラボレーション（共同制作）というスタイルが近年注目されてきています。それは従来のような個人の個性発露としての表現とは異なり、お互いの個性を尊重しつつ共通の接点を探り、相互に触発されながら新たな展開を見出していくという新しいスタイルの表現と言えます。

この展覧会では、詩と造形という異分野によるコラボレーションがおこなわれますが、ジャンルを越えた出会いの中で生み出したユニークで豊かな世界に触れていただきたいと思います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



「岐路」詩：吉久隆弘  
造形：榎本勝彦

### ..... アートウェーブ岡山・巡回展 勝央 を終えて .....



会場風景

「映像 視覚と日常」をテーマに、県内で活躍している美術家による様々な映像作品25点を勝央町郷土美術館で11月13日から12月1日まで展示しました。

普段触れる機会の少ないジャンルである映像作品ということもあって、来館者には非常に新鮮で、多数の地元の方々が熱心に鑑賞されていました。また、洋館風の旧役場を改装した美術館の建物と、映像という先端的な美術表現との意外な取り合わせも好評でした。四百名を超える方々にご来場いただき、盛況の内に終えました。ありがとうございました。

なお、勝央会場終了後、高梁市歴史美術館に巡回展示しました。

ギャラリー

期間 (週)	第 1 展 示 室		第 2 展 示 室	
	大 室	小 室	大 室	小 室
1/28 2/2	「現代作家の眼」アートウェア岡山・コラボレーション ポエム2003 会期：1/22(水)～2/2(日) 岡山県内で活躍する詩人・美術家ペア25組によるコラボレーション作品展 「現代作家の眼」展実行委員会 入場無料		第19回 岡山県工業高校デザイン展 デザイン(岡山工高デザイン科、高梁工高デザイン科・インテリア科、東岡山工高設備システム科)400点 岡山県高等学校工業教育協会・デザイン系部会 入場無料	
2/4 2/9	第35回 岡山県高等学校美術展 絵画250点・デザイン100点・立体20点・工芸30点 岡山県高等学校美術部協議会 入場無料			
2/11 2/16	独立展(巡回展) 洋画100点 独立美術協会 700円、高校生500円、小中学生・65歳以上400円(前売り 一般600円)			
2/18 2/23	ノートルダム清心女子大学児童学科卒業制作展 洋画70点・彫塑7点・パネル7点 ノートルダム清心女子大学児童学科 入場無料		中国デザイン専門学校 平成14年度 卒業制作展 デザイン(グラフィック、CG、イラストレーション・アニメーション、インテリア、プロダクト等)約45点 中国デザイン専門学校 入場無料	
2/25 3/2	第137回 県下小・中学校書き初め展覧会 書(書写)1500点 岡山県習字教育研究会 入場無料		第47回 岡山市教職員美術展 洋画・日本画・版画・写真・工芸 計135点 教職員美術展運営委員会 入場無料	
3/4 3/9	岡山県立大学デザイン学部・大学院 卒業・修了制作展 平面及び立体デザイン100点 岡山県立大学 入場無料			
3/11 3/16	岡山大学 美術教室卒業制作展 絵画12点・彫刻2点・デザイン10点・工芸8点 岡山大学教育学部美術教室 入場無料		第35回 岡山美術クラブ展 洋画・日本画・書 他約160点 岡山美術クラブ 入場無料	
3/18 3/23	第20回 岡山県現代俳句の書展 書170点 岡山県近代詩文書道連盟 入場無料		第34回 備前陶心会展 陶芸作品(備前焼)40点 備前陶心会 入場無料	
3/25 3/30	第36回 聖雲書道会展 書230点 聖雲書道会 入場無料		渓雲書道会展 書350点 渓雲書道会 入場無料	

ギャラリーの開場時間は通常9時から17時です。  
団体の都合により、展覧会名称・入場料等が変更されることもあります。

ホール(固定席282席)

日 曜)	催 物	時 間	料 金	主 催 者
2/2(日)	就実高等学校演劇部 卒業公演	14:00～16:00	無 料	就実高等学校演劇部
2/8(土)	劇団ひびき 第68回公演 「お勝手の姫」	14:30～	前1,500円/当1,800円	劇 団 ひ び き
2/9(日)		18:30～		
2/22(土)	マスカット バイバイコンサート	13:00～	500円	岡山理科大学 マスカット
3/1(土)	パピルス バイバイライブ	13:00～16:00	300円	ノートルダム清心女子大学 軽音楽部 パピルス
3/3(月)	文化センターホール使用抽選会 (対象期間：H.15.9～11月分)	9:00～		岡山県総合文化センター 総務課文化係
3/8(土)	平成14年度 卒業制作展上映会	13:00～16:00	無 料	岡山県立大学デザイン学部
3/13(木)	平成14年度 第2回花の銀行頭取会議	未 定	無 料	岡山県コミュニティ協会
3/15(土)	演劇公演 「あなたに」	14:00～	1,000円	EN劇集団 Sun Ta Bag
3/16(日)		19:00～		
3/22(土)	「Y・Yコンサート」	13:00～16:00	無 料	田 尾 弥 生 子
3/29(土)	岡山大学軽音ロック追い出しライブ	13:00～	無 料	岡山大学軽音ロック
3/30(日)	第2回 ギターフェスティバル	13:00～16:00	未 定	岡山県ギター愛奏会(L.A.G.O.)

ホールの、楽屋25・舞台96.40・客席196.98・固定席282席です。  
使用希望者は、3ヶ月ごとの抽選会に出席してください。  
平成15年度のホール抽選会は、6/2(12～2月)・9/1(3月～)ですが、抽選済みの期間で空きがあれば随時受け付けています。  
使用目的は、ピアノ発表会・バンド演奏会・演劇公演等、営利目的以外の芸術文化関係の催しに限ります。  
上記の催し物は、12月末現在申し込み済みのものです。  
主催団体の都合で、中止・変更等の場合もありますので、事前に御確認願います。

催し物案内と文化センターニュースはホームページでもご覧になれます。(http://www.libnet.pref.okayama.jp)